好評連載中!!

Woman's Vision

感涙にむせんだ開局初日と歩み始めた漢方相談の道

執筆者
★狭間紀代氏
坂口眞弓氏
篠原 久仁子氏
佐野恒子氏

「これからの薬剤師に大きな期待を込めて」～薬剤師歴50余年で感じること～

ファルメディコ代表取締役会長
一般社団法人日本在宅薬学会理事／薬剤師
狭間紀代

第2回

「薬局3・0」へ向かう 薬剤師業務の展開

心弾む希望と使命感に燃えたスタートライン

高度経済成長期にあった1970年代前半、エリートサラリーマンの多かった千里ニュータウンの中で、これまた倍率の多かった新設の豊中市立南丘保育所への入所を希望し、市役所に連日、懇願通いして2人の息子たちを入れてもらえました。市の児童保育課に通い詰め「この子たちを保育所に入れていただかなくては働けないのです。薬局店主の懇願状もここに持っています!」などと、無理なお願いをしたものです。

この時、市役所でも人情は通じるなあと思いました。それからは、一気に仕事にはまってまいりました。楽しく充実した共稼ぎ家庭でした。

しかし、この頃は学童保育もなく、私の母の「子どもたちに『おかえりなさい』って言ってやれない環境はダメよ」との一言で長男研至が小学1年生になる76年4月1日から家庭に入りました。

当初は最高の教育ママを演じていましたが、すぐに欲求不満、ノイローゼ状態とまではいかなかったですが「世の中は私が働かなくては大変になるのだ」……なんてあほうなことを考え始め、母に相談しました。

「『おかえり』って言ってやれる環境なら薬局ね」と軽く言う母の意見を聞き、すぐに私は動き始めました。

開局しようと心弾ませて動き出したのですが、神戸市内で歯科医院を開業していたしゅうとが「借金は絶対ダメ」という考えの人でしたので、新聞の3行広告をしらみつぶしに調べて安価な物件を探しました。

千里ニュータウンの公団分譲住宅購入時380万円のローン返済中だったマンションを某クリニック事務長が970万円で購入してくださり、その差を元金にして980万円で大阪市平野区の下町の店舗付き住宅を購入しました。

そのあとは、案ずれば何とか!

薬局申請をして国民金融公庫独立開業資金制度で200万円借り入れて商品を仕入れ、76年12月23日に小さなささやかな「ハザマ薬局」を開局いたしました。

長男が小学1年の2学期末、次男が豊中市立南丘保育所の年中児として保育所生活1年余を残しての出発です。

夫は製薬会社研究室勤務の真面目でお地蔵さまのような、私にはうってつけの優しいおとなしい人です。

こうして闘いはスタートしました。

若かった私には、何はともあれ心弾ませての船出でしたが、この後、いろいろと大変なこともありました。

しかし「開局できた」という興奮で喜びも悲しみも苦しみも何も感じていない無謀な船出でした。

クリスマス"イブイブ"の晴れた穏やかな開局初日、6万7000円の売り上げに感動し、夜中に興奮しながら父親に報告している最中、緊張が解き放たれたのかおえつしてしまったことを最近になって思い出します。泣かずに笑って報告できなかったことを悔やんでいます。

開局7年目（1983年）ごろ店頭で

漢方薬の師と仰ぐ故・山本巌先生との出会い

その頃、私の小学6年時の格好良く、すてきだった若き男性担任の先生に何十年ぶりにお会いしました。

太られて容貌もすっかり変られていました。驚いた私は栄養過多の食毒を除く防風通聖散合通導散の煎じ薬を生薬分包して1カ月分お送りし、ご自宅で毎日煎じて服用をお願い致しました。奥さまが煎じられて先生が真面目に飲んでくださいました。

見る見るうちにスマートになられ、なんと半年後には、前の風貌に戻られてうれしくなりました。

その変貌ぶりの効果はセンセーショナルでした。「僕は歩く宣伝カーやなあ」と勤務先の豊中市教育委員会で宣伝なさってくださったことがきっかけとなり、豊中市教育委員会からそれはそれはたくさんの方が遠い大阪南部の小さな店までやって来られて、漢方煎じ薬の大流行状態になりました。

まさしく、漢方薬の師と仰いだ故・山本巌先生の教えである「病いは邪である、邪は瀉さねばならない」を身を持って経験させていただいた第一歩でした。

これが、漢方薬三昧の日々へのスタートです。学生時代に苦手だった漢方薬ですが、こうなった理由は、わが子2人の体質改善を山本先生にご診断いただいたことがきっかけになっています。

元気印・長男研至は、なぜか気温が下がるとすぐにせき込み、だんだんひどくなる。近所で評判の小児科医院に受診し、せき止め薬をいただいても全く止まらないどころか服用すると、顔面蒼白（そうはく）になり「おかあちゃま、胸が苦しい」と訴える。

困り果てて高名だった山本先生を頼り、秋の始めに駆け込みました。研至を診るなり「この子は叩いても死なん。安心しなさい」とおっしゃり、小柴胡湯合半夏厚朴湯をお勧めくださいました。服用後はなんと3カ月間、お正月の寒さの中でも一度もせきをしないのです。保育所を休ませなくていい! 私も仕事を休まなくても良くなったのです!!

1989年、初めて雇用した事務員さんと

※次回は11月27日号にて、「健康サポート薬局"48薬効群"OTC医薬品の選び方と勧め方～」をテーマに、みどり薬局代表・坂口眞弓氏が登場します。